



Title	モンゴル研究会活動報告 (2007年度)
Author(s)	
Citation	モンゴル研究. 2008, 25, p. 75-75
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102354
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

モンゴル研究会活動報告 (2007 年度)

■モンゴル研究会 7月例会 & 第1回卒論中間発表会 日時：2007年7月14日

■モンゴル研究会 10月例会 & 第2回卒論中間発表会 日時：2007年10月21日

■モンゴル研究会 12月例会 & 第3回卒論最終発表会 日時：2007年12月2日

報告者および報告テーマ：

- ・川崎未来 「モンゴル国における日本語教育の課題 ～日本語教師の可能性から考える～」
- ・小中里恵 「モンゴル国の食について」
- ・佐伯勝志 「モンゴル国における鉱害問題 ～水俣病の経験から考える～」
- ・垂水友香 「モンゴル人と葬法 ～グローバリゼーションのなかでの変容～」
- ・永田 梓 「移住者とアソシエーションと地域コミュニティ ～ウランバートル市第3ホローと名古屋市栄地区の事例から考える」
- ・西部絵瑠 「自然から学び、現代を生きる人々の姿 ～日本の牛飼いとモンゴルの遊牧民の事例から考える～」
- ・東森 大 「貧困家庭における底力となる民間療法 ～モンゴル国ウランバートル市第三ホローにおけるアンケート調査からの考察～」
- ・武 韻恩 「遼朝服飾史に関する一考察 一定住化がもたらす女性服飾の変容～」
- ・森田省吾 「オゴタイ・カン ～司馬遼太郎の想い描いたモンゴル人とは～」

■モンゴル研究会 2月例会 & 2007年度卒業論文の合評会

日時：2008年2月2、3日

報告者および報告テーマ：

- ・武 韻恩 「遼朝服飾史に関する一考察 一定住化がもたらす女性服飾の変容～」
- ・森田省吾 「オゴタイ・カン ～司馬遼太郎の想い描いたモンゴル人とは～」
- ・垂水友香 「モンゴル人と葬法 ～グローバリゼーションのなかでの変容～」
- ・佐伯勝志 「モンゴル国における鉱害問題 ～水俣病の経験から考える～」
- ・永田 梓 「移住者とアソシエーションと地域コミュニティ ～ウランバートル市第3ホローと名古屋市栄地区の事例から考える」
- ・東森 大 「貧困家庭における底力となる民間療法 ～モンゴル国ウランバートル市第三ホローにおけるアンケート調査からの考察～」
- ・川崎未来 「モンゴル国における日本語教育の課題 ～日本語教師の可能性から考える～」
- ・小中里恵 「モンゴル国の食について」
- ・西部絵瑠 「自然から学び、現代を生きる人々の姿 ～日本の牛飼いとモンゴルの遊牧民の事例から考える～」

(以上、敬称略)

* * *

今年度も今岡ゼミとモンゴル研究会の合同で月例会を企画し、卒業論文の発表会を開催した。今年も、社会人と現役の学生(4年生と3年生)が交流する貴重な機会となった。また、卒論を作成するプロセスで、助け合い、励ましあい、競い合う卒論生が、一種の共同体を作っている。信頼が深まるにつれ、叱咤激励も激しい口調となっている。おそらくもとのモンゴル研究会は、このような雰囲気だったのではないかと、思いをはせる。

(今岡 良子)